

学校保健

(題字は元北海道学校保健会会長 吉田 信)

発行
公益財団法人北海道学校保健会
札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館5F
☎(011) 221-5240



「健康診断のありがたみ」

北海道中学校長会 副会長
公益財団法人北海道学校保健会 副会長

木谷 貢一

9月はじめ、台風21号と道内で初めて震度7を観測した胆振東部地震に見舞われました。被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

学校において2学期の初めは、子どもたちが自ら命を落とす事故が1年の中で最も多いことが報告され、所謂「9月1日問題」として報道されるときであり、改めて命・健康の大切さ、安全・安心の大切さを意識したところでした。

私事で恐縮なのですが、夏季休業中に初めて人間ドックを受診しました。事前調査票への回答、問診、血圧・血液検査、視力・聴力の検査、胃のバリウム検査・大腸がん検診…と、ひと通りの検査を終え、ふと思ったのは毎年行われている教職員の定期健康診断内容と重なる部分が少なくないことでした。もちろん専門的な面では、一度に多くの人数を対象とする健康診断と機器や精度等の面で差異があるでしょうが、毎年行われている健康診断のありがたみを改めて感じたのも事実でした。

学校に当てはめて考えたときに、子どもたちを対象に行われている健康診断も然りと思いました。

最近麻疹の患者が出たことで予防接種の実施状況が年代によって異なることが明らかになりましたように、学校で行われなくなったものもありますが、北海道学校保健会が、道や市町村の事業を引き継ぐ形で、眼科や耳鼻咽喉科医の確保が困難な教育委員会に対し専門医を紹介する専門医健診推進事業や、独自に心臓検診を実施することが困難な市町村に対し援助を行う心臓検診推進事業により、道内全ての子どもたちの健康の保持増進が図られていることのありがたみを改めて考えさせられたのです。そして、それは北海道医師会をはじめ多くの専門機関の皆様のお蔭で実施できていることを思うと、ご協力いただいている皆様に改めて深く感謝申し上げるべきと思ったところです。

未来を担う子供たちは社会全体の宝です。学校においても安全・安心の確保の大切さを肝に銘じて、今後も皆様のご協力をいただきながら、教育活動の充実に努めて参ります。

目次

○巻頭言 「健康診断のありがたみ」

北海道中学校長会 副会長

公益財団法人北海道学校保健会 副会長 木谷 貢一 …… 1

○平成30年度北海道学校保健功労者表彰受賞者の紹介 …… 2

○保健室シリーズ 危機管理体制・危機管理意識について思うこと

石狩市立八幡小学校 養護教諭 木村 優子 …… 4

○平成29年度公益財団法人北海道学校保健会 事業報告(概要) …… 7

○平成29年度公益財団法人北海道学校保健会 財務諸表 …… 8

平成30年度 学校保健功労者表彰 受賞者の紹介

(敬称略) (年齢は平成30年5月1日現在)

職 名	氏 名	勤務(担当)校	職 名	氏 名	勤務(担当)校
学校医	島田 道朗	恵庭市立和光小学校	学校医	中島 正博	札幌市立上白石小学校
〃	森田 泰行	北広島市立大曲小学校他1校	〃	中村 保博	札幌市立北野台中学校
〃	遠藤 明	函館市立桔梗小学校他1校	〃	松本 修二	札幌市立西岡北中学校
〃	中島 滋夫	函館市立あさひ小学校	〃	横山 良伸	札幌市立新琴似北中学校
〃	江口秀一郎	函館市立青柳中学校他1校	〃	佐賀 徳博	札幌市立篠路小学校他5校
〃	清水 信晶	函館市立湯川小学校他14校	〃	関根 伸子	札幌市立大谷地東小学校他1校
〃	小松 格一	北斗市立浜分中学校	〃	竹田 明	札幌市立中の島小学校他3校
〃	本間紀久雄	北斗市立谷川小学校	学 校 医 園 科 医	橘 隆晴	江別市立上江別小学校
〃	大場 公孝	北斗市立石別小学校他1校	〃	市川 恭成	江別市立いずみ野小学校
〃	増田 幸久	北斗市立大野小学校	〃	栗山 秀之	千歳市立泉沢小学校
〃	椎木 衛	北斗市立大野中学校他1校	〃	真鍋 淳	千歳市立青葉中学校
〃	平田 博巳	北斗市立浜分小学校	〃	望月誠太郎	石狩市立花川小学校
〃	飯田 雅男	北斗市立上磯中学校	〃	江頭 裕二	石狩市立生振小学校
〃	北川 文彦	余市町立小中学校7校	〃	宮崎 英樹	石狩市立紅南小学校
〃	西村 恒則	滝川市立滝川第一小学校他10校	〃	竹花 一	石狩市立石狩中学校
〃	大谷地裕明	旭川市立旭川第1小学校他3校	〃	野畑 貴夫	石狩市立花川南中学校
〃	宮本 晶恵	北海道東川養護学校	〃	岩井 祐司	函館市立戸井西小学校他3校1園
〃	伊東 周作	訓子府町立訓子府小学校他2校	〃	坂口 友子	函館市立榎法華小学校他1校
〃	工藤 康生	美幌町立北中学校	〃	椿田 恵三	函館市立えさん小学校他1校
〃	田 畠 慎哉	美幌町立東陽小学校	〃	敦賀 淑雅	函館市立北美原小学校
〃	平間 圭介	美幌町立美幌小学校	〃	山田 一巳	函館市立中の沢小学校
〃	田中 克彦	美幌町立美幌小学校	〃	大清水和之	函館市立臼尻小学校他2校
〃	柴田 真吾	苫小牧市立澄川小学校	〃	内藤 早苗	北斗市立沖川小学校
〃	高柳 直己	苫小牧市立啓明中学校	〃	山村 一郎	北斗市立上磯中学校
〃	浪岡 正行	苫小牧市立勇払小学校他1校	〃	近藤 玲子	北斗市立久根別小学校
〃	吉鶴 博生	苫小牧市立明野小学校他4校	〃	天池 孝行	北斗市立久根別小学校
〃	秋田 信人	苫小牧市立澄川小学校他2校	〃	田島 雄大	北斗市立茂辺地小学校他2校
〃	石田 修	伊達市立長和小学校	〃	横内 厚雄	北斗市立大野中学校他1校
〃	能登屋久志	豊浦町全小中学校	〃	遠藤 岳夫	北斗市立浜分小学校他1校
〃	佐藤 幸宏	帯広市立啓北小学校	〃	佐藤 友美	小樽市立西陵中学校
〃	田 淵 伴秀	釧路市立鳥取小学校他5校	〃	石谷 孝之	小樽市立手宮中央小学校
〃	山科 賢児	札幌市立中央小学校	〃	上浦 庸司	小樽市立望洋台小学校他1校
〃	上 辻 教幸	札幌市立西岡北小学校	〃	伊藤 公一	小樽市立手宮中央小学校
〃	岡田 春夫	札幌市立札幌中学校	〃	平井 晋	小樽市立潮見台小学校
〃	兼次 邦男	札幌市立盤溪小学校他1校	〃	千葉 真弓	小樽市立銭函中学校

職 名	氏 名	勤務(担当)校	職 名	氏 名	勤務(担当)校
学 校 園科医	菊地みち子	ニセコ町立ニセコ小学校他 3 校	学 校 園科医	三浦 政之	札幌市立もみじの森小学校
〃	清水 学	由仁町立由仁中学校	〃	鈴木 淳一	市立札幌藻岩高等学校
〃	竹内 友康	岩見沢市立緑陵高等学校	〃	福島 誠人	札幌市立あつべつきた幼稚園
〃	川野 正裕	岩見沢市立中央小学校	〃	五十嵐公一	札幌市立福井野小学校
〃	旗手 一永	岩見沢市立清園中学校	〃	大川 晋一	札幌市立あいの里東中学校
〃	吉村 治範	美瑛市立東中学校	〃	伊藤 忠弘	札幌市立中央幼稚園
〃	村上 孝男	美瑛市立美瑛中学校	〃	岡田 亨	札幌市立米里小学校
〃	中村 光宏	滝川西高等学校	〃	丸山 道朗	札幌市立山鼻南小学校他 1 校
〃	一戸 義宏	旭川市立永山中学校	学 校 薬剤師	照井 和幸	函館市立上湯川小学校
〃	品川 拓人	旭川市立忠和小学校他 1 校	〃	隈崎 式秀	函館市立駒場小学校
〃	中坪 政則	旭川市立永山中学校	〃	押木 祥子	函館市立深堀小学校
〃	吉田 貴宏	旭川市立東五条小学校他 1 校	〃	藤澤ゆかり	函館市立中央小学校
〃	吉田 裕一	旭川市立豊岡小学校	〃	小田貴実子	小樽市立手宮中央小学校
〃	小玉 格	上富良野町立上富良野中学校	〃	永井千佐子	小樽市立菁園中学校
〃	種田 知格	北見市立美山小学校他 1 校	〃	本間 克朗	余市町立旭中学校
〃	三宅 有	北見市立中央小学校	元学校 薬剤師	黒川 範子	旧由仁町立三川小学校
〃	後藤 邦彦	室蘭市内小中学校	学 校 薬剤師	池田 吉隆	滝川市立明苑中学校
〃	工藤 逸朗	豊浦町全小中学校	〃	小熊 康夫	上富良野町立上富良野中学校他 1 校
〃	舟木理一郎	新ひだか町立三石小学校他 1 校	〃	栗屋万里子	旭川市立東明中学校
〃	棚原 秀樹	本別町立仙美里小学校	〃	落合 広暁	旭川市立啓北中学校
〃	賀陽 真哉	本別町立勇足小学校他 1 校	〃	佐藤 貴子	旭川市立江丹別小学校他 1 校
〃	加藤 英俊	本別町立本別中央小学校	〃	辻 康秀	室蘭市立港北中学校
〃	米澤 敏信	帯広市立豊成小学校	〃	赤松 勉	室蘭市立高砂小学校
〃	増地 裕幸	帯広市立豊成小学校	〃	吉吞 忠明	豊浦町全小中学校
〃	鶴島 茂幸	帯広市立帯広第八中学校	〃	土井 竜樹	釧路市立共栄中学校
〃	遠藤 育郎	帯広市立森の里小学校	〃	井藤 達也	札幌市立屯田中央中学校
〃	鳥本 俊秀	釧路市立芦野小学校	〃	小田 雅子	札幌市立真駒内公園小学校
〃	中村 俊雄	厚岸町全小中学校	〃	鍵和田 薫	札幌市立富丘小学校
〃	江村 昌祐	根室市立成央小学校	〃	斉藤 範之	札幌市立手稲中央小学校他 1 園
〃	木村 茂	根室市立北斗小学校	〃	高橋 玲子	札幌市立元町北小学校
〃	田中 裕明	札幌市立厚別南中学校	〃	中井 雅智	札幌市立宮の丘中学校
〃	小池 靖	札幌市立中央小学校	〃	中宮 典子	札幌市立陵陽中学校
〃	大瀧 克典	札幌市立前田中央小学校	〃	中村美智子	札幌市立豊成養護学校
〃	坂井 秀行	札幌市立藤野小学校	〃	福島 絃司	札幌市立青葉中学校
〃	藤井 英貴	市立札幌啓北商業高等学校	教職員	太田 妙子	釧路市立美原小学校栄養教諭
〃	川上 和彦	札幌市立太平中学校	〃	杉田摩利子	札幌市立山鼻中学校養護教諭
〃	馬場 康成	札幌市立平岡中央中学校	〃	矢野 恵理	市立札幌開成中等教育学校養護教諭

保健室シリーズ

危機管理体制・ 危機管理意識について 思うこと

石狩市立八幡小学校養護教諭 木村優子

1. はじめに

10年ほど前になりますが、校内プールで学習中の6年生女子が泳いでいる最中に心肺停止状態になりました。担任の指示で見学の児童が私を呼びに来たので、AEDを抱えて駆けつけました。教頭・担任団(3名)・養護教諭でAEDを使用して蘇生することに成功し、医療ヘリで北大ICUに搬送されました。検査の結果、不整脈による心室細動だったことがわかり、ICD(植え込み型除細動器)を装着して、数ヶ月後に元気に学校に戻ってきました。心疾患についての既往はなかったのですが、北大からの照会で1年生の心臓検診時の心電図を届けると、「兆候はあるものの正常範囲である」とのことでした。

学校は長時間子供が生活する場所であり、生死に関わる事故が発生しうる場所であることも身にしみて実感しました。また、私たち養護教諭の仕事は子供達の健康管理ですが、既往が無かったにもかかわらず、突然発症する想定外の事態を改めて考えさせられました。

この時の経験から危機管理体制や危機管理意識について考えるようになりました。当時は危機管理マニュアルが作成され始めた時期で、職員会議では不審者対応・連れ去り等の事件対応・学校内外での事故など様々な場面を想定しての対応策を協議する機会も多かったと思います。そんな中で、役割分担や担任のやるべき事等の確認は最低限必要ですが、何よりも事故の場に居合わせた人が適切な対応が出来ることが一番であると考えようになりました。その為に養護教諭として何をしなければならないかを考えてきました。

2. 危機管理体制の構築・危機管理意識を高める 為に

(1) 救急救命措置ができること

たどり着いた結論の一つ目は、「教職員は救急救命できなければならない」ということでした。学校をはじめ、ほとんどの公共施設にAEDが設置されており、校内外での危機に備えて学校関係者の救命講習の受講は必須です。2年に1回の必要性が言われていますが、事故に遭遇した場合にはパニックで混乱しますので、受講は機会があれば何度でもと言いたいところです。消防署に依頼すると学校に来て救急救命講習会を行ってくれます。研修に位置づけて毎年行うことがスキルを高める事につながります。

先の事故の場合にも自分達が救急救命しているにも関わらず、誰もが震えながら誰か助けてと祈るような思いでしたし、心臓マッサージしている私の傍で人工呼吸しようと待ち構えていた同僚に「30回圧迫に2回人工呼吸」の記憶が飛んでしまい、20回に2回と指示するなど本当に混乱していました。

それでも、教職員ほぼ全員が救急救命講習を受けており、救命につながるAEDの使用・人工呼吸はもちろん、保護者への連絡・残った児童への指導・全体への周知・救急車や消防車の誘導・報道機関への対応など、あらゆる事柄がうまく運んだのは、マニュアルが頭にあって動いたからではなく、その場に居合わせたメンバーが何をすべきかととさに判断し、適切に行動したからだと思っています。

(2) あらゆる場面を想定する

二つ目は、あらゆる場面を想定するということです。この事故後、全体で振り返りを行いました。高学年ではなく低学年の場合なら、プールではなくグラウンドなら、教室だったら、などなどあらゆる場面・場所からの連絡方法・対応等を協議したことは教職員全員にとって大きな財産となりました。

様々な場面を想定することで自分の判断が問われますし、被害を最小限にするためにはどんな準備が必要かを考える事につながります。

これまで行っていた各行事に対する危機管理体制の見直しもしました。例えば運動会の場合では①当日のみAEDを本部の救護席に移動する

②担架をグラウンド近くの出入り口に置く

③当日の救急当番医を新聞で確認し、拡大して職員室に掲示する…

などを係提案する事で、全体の危機管理意識を高める事につながると考えました。

また、養護教諭の所在の示し方や養護教諭不在時の引率病院一覧や診療科の確認、なども改めて考えさせられました。

(3) 児童の健康状態の把握・情報の共有

三つ目には、児童の健康情報は最低、学年の担任団と共有すべきということです。

先の事故では、救急隊からも警察からも該当児童の心疾患の既往を尋ねられましたが、担任も私も確信を持って「既往無し」と答えています。既往症、疾病罹患状況、かかりつけの病院の把握などは整理して、学級担任又は学年に提示し共有します。特に大きな疾病を持っている児童については、その病気の経過・日常の留意点・かかりつけの病院・担当医師なども把握し、学年で共有しておくべきです。

血友病のお子さんが入学した年には、配慮が必要な児童の確認時に合わせて・血友病について・日常の留意点・もし出血する事故が起きたらなどを全教職員で研修し、情報の共有を行いました。

宿泊行事に向けての健康調査では、集約後一覧表にして、必要に応じて児童との面談をします。特に自身の異動直後では顔と名前の一致の為に面談は有効です。喘息・アレルギーなどでは発作時の対応や持参薬の有無など本人との確認が必要です。一覧表・面談結果を基に引率者との打合せで情報共有し、あわせて夜間・救急病院の確認なども行います。

(4) 「全員が救急処置できる」を目指しての発信

四つ目には、事故が起きた時その場に居合わせた人が何も出来ない、では済まされないということです。いつも養護教諭が傍にいる訳ではありません。教職員の誰もが救急処置を行える事を目指して、日常の事故や病気に関わる様々な情報を発信するようになりました。いずれも事故や疾病があった翌日に、インターネットを参考に分かりやすい資料を作成して配布し、その場合どうするかを中心に説明しました。

例えば…

○校務補さんがスズメバチに刺された場合

- ・刺されたら大人でもかなりの衝撃があり、子供ならうずくまってしまうほど
- ・急いでその場を離れなければならない
払わず・大声を出さず・速やかに
- ・保健室での対応
ポイズンリムーバーで毒を吸引、水で洗う
抗ヒスタミン軟膏塗布、冷却
- ・リムーバーの使い方をレクチャーする

アレルギー体質の人や2度目の人は注意
ショック症状が現れたらすぐに病院へ。

山や海へ出かけること多い夏には、有害な生物に接する機会も多くなります。特に8月から10月はスズメバチの被害が多くなる季節です。毎年、何人かがスズメバチに刺されて亡くなっていますので、十分な注意が必要です。

◆スズメバチに刺されたらどうなるの？
ハチに刺されると、体内にハチ毒に対する抗体ができ、次に同じ種類のハチに刺されたときには、人によっては、アレルギー反応を起こし、アナフィラキシーと呼ばれるショック症状を起こします。アナフィラキシーを起こすと、呼吸困難や血圧低下などを起こし、最悪の場合、死に至る危険があります。特に、アレルギー体質の人や、ハチに一度、刺されたことがある人は、十分注意する必要があります。

ハチに刺されたら

口で吸った場合
毒は必ず吐き出しましょう

傷口をよく洗い流し
傷口から毒を絞り出しましょう

◆ハチに刺されたらどうすればいいの？
次のような手順で処置をし、安静にします。20分ほど様子を見て、異常がないようなら、ひとまずは安心です。様子が

★アレルギー体質や以前にも蜂に刺されたことのある人は要注意！★

○児童がけいれん発作を起こした場合

- ・既往にはなくても、けいれん発作の為、救急車を要請
- ・安全な場所に移動
- ・衣服を緩める（ボタン・ベルト）
- ・発作の時刻を確認する
- ・発作後は顔を横向きにし、寄り添う

**全身けいれん発作の時
周りの人にしてほしいこと**

てんかん発作(全身けいれん発作)時の対応
応急手当、周りの人にしてほしいこと

安静に寝かせて刺激は少なく！

衣服のボタンはゆるめる

石油ストーブなどの危険なものは遠ざける

顔は横向き
(吐いたものが気管に入らないように)

眼・手・足の動きを観察
(左右差はないか等)

てんかん発作がおさまった後は

○転倒して頭を打ち嘔吐した場合

- ・頭を打った場合、症状が外傷直後に出る場合と数時間ないし数日後に出る場合があるので必ず2～3日の経過観察が必要（担任・保護者いずれも）
- ・嘔吐処理の確認（ノロの場合含めて）

○その他

- ・遠足前の救急靴の使い方講習
リムーバー、歯の保存液、タクシーチケットの書き方等の確認

こうした発信を続ける事で教職員の会話に次のような変化が起きてきました。

◎社会見学の朝、救急靴を学年に渡すと「熱中症は冷やしながら救急車ね。冷却パックは叩いて中袋を割るだったよね」「ハチの毒はあれで吸い取る。ねえ、もう一回やって見せて」

◎ほぼ水を抜いたプールで《浮かべて遊ぼう》の低学年生活科で「プール行くけど、熱中症と他に気をつける事は?」「ハチが異常発生しているらしいわ」「OK、もしハチが入ってきたら即撤収するわ。大声を出さず、速やかにね!」

◎チャドクガが異常発生との新聞報道を受け、保健だよりで知らせたところ「チャドクガに刺された時はどうするの?」が話題となり《ガムテープを貼ってベリッとはがす》が浸透し、遠足グッズの中にガムテープが加わった。

また遠足前の救急靴の講習会は好評で、行事反省の中に毎年続けて欲しいとの意見が寄せられました。

(5) 機能する保健室

五つ目には、誰が来ても機能する保健室でなければならないということです。

① 何がどこにあるかわかる

着替え・寝具・タオル・救急靴・嘔吐処理グッズ・医薬消耗品・保冷剤・補水液等の保管場所である棚や引き出し、冷蔵庫、ロッカーなどにはテプラであらゆる表示がしてあります。

養護教諭不在時にお漏らしした子の着替えをしてくれた支援員さんが、「下着も、ジャージもサイズ別になっていてすぐに分かりましたし、保護者に持たせるお手紙も同じ場所にあったので、書いて持たせました」と報告してくれました。また、体調不良でベッドで休養した子がよだれを枕につけてしまいましたが、対応した教頭が寝具類→シ

ーツ類→の表示通りに開けて枕カバーを出して取り替え、次の為に備えられました。

些細な事です、誰もが何も困ることなく子供への対応ができるというのが機能する保健室です。

② 必要な書類が取り出せる

書類保管の仕方はそれぞれが工夫されていると思いますが、観点は一つ、誰が見てもわかる事です。私は学校保健の領域毎にファイルの色を分けて年度ごとに綴っています。

青	検診日程調整・検診会場写真・学校医歯科医・就学时検診結果・健康診断実施要領 等
緑	保健室経営・ほけんだより・傷病統計・事前調査結果・健康調査結果 等
紫	かぜ調べ集計・感染症報告書・感染症研修会・市内閉鎖状況 等
赤	薬品購入簿・環境衛生検査・清掃用具購入簿・清掃分担、担当 等
白	アレルギー調査・結果一覧・食物アレルギー給食対応者・石狩アレルギー対応・様式集 等
水	危機管理マニュアル・危機管理発信資料 等

といった具合に色別に分けているので、探す手間がありません。

過去に夏季休業中にアレルギーの調査が来たことがありました。養護教諭は不在でした。休み明け、教頭に「僕にも分かるかなと思って保健室を見たら、棚に健康調査結果一覧のファイルがあり、全校児童のアレルギーが出ていたので、数えて報告出しておいたからね」と言われました。このように必要な書類が誰にでもすぐに分かる保管をすると作業がスムーズに進みます。

3. まとめ

事故が起きないのが一番ですが、起こさないための準備が必要ですし、万一起きてしまっても適切な対応ができることが重要です。様々な場面を想定しての準備・健康情報の共有・救急処置のスキルアップ・そして養護教諭がいなくても機能する保健室であること、すなわち「危機管理体制を構築する・危機管理意識を高める」とはこうしたことの積み重ねではないかと考え、日々実践しているところです。

平成29年度 公益財団法人 北海道学校保健会事業報告(概要)

【運営会議】

- 29.6.4 第1回理事会
29.6.24 第1回評議員会
29.7.4 第2回理事会
30.2.25 第3回理事会
30.3.24 第2回評議員会

第1 専門医健診推進事業

学校の児童生徒の健康診断において専門医（眼科・耳鼻咽喉科）の確保が困難な教育委員会に対し、北海道教育委員会、北海道医師会、北海道眼科医会、北海道耳鼻咽喉科医会の協力を得て専門医の紹介を行い、児童生徒の健康の保持増進に努めた。

【眼科】10町 江差町、苫前町、利尻町、礼文町、利尻富士町、中頓別町、枝幸町、豊富町、幌延町、津別町

○小26校 1,534人、中16校 777人

【耳鼻咽喉科】1町 苫前町

○小2校 133人、中2校 79人

第2 心臓検診推進事業

児童生徒の学校での心臓検診において、独自で検査を実施することが困難な市町村に対し、心臓検診を実施できるよう援助を行い、小児循環器専門医による判定結果を、教育委員会を通して学校・保護者に知らせるなどして、児童生徒の健康の保持増進に努めた。

（児童生徒1人あたり1,300円で実施）

・協力機関

北海道医師会、北海道臨床衛生検査技師会、苫小牧保健センター心電図解析センター、北海道小児循環器研究会

・実施市町村

21市町村、児童生徒3,529名に対して実施。受診対象者の95.8%。

第3 研究啓発事業

1 北海道学校保健研究大会

（日本学校保健会委委託事業）の開催

各関係団体と連携して主催し、第65回北海道学校保健研究大会日高（新ひだか）大会の充実に努めた。学校保健活動の充実に図り、学校・家庭・地域社会が連携し、課題解決を図るべく研究会を開催した。講演会を開催し、部会別協議を通して、児童生徒の健康の保持増進に貢献できた。

10月1日（日）新ひだか町総合市民センター
参加者 約220名

2 学校保健講演会の開催

（1）第37回北海道学校歯科保健研究大会
北海道歯科医師会との共催。

10月20日（金）北海道歯科医師会館

平成29年度北海道学校歯科保健優良校表彰、
平成29年度北海道歯・口の健康に関する

図画・ポスターコンクール表彰。

講演：北海道教育大学札幌校養護教育専攻

准教授 前上里 直 氏

演題：ヘルスプロモーションと学校健康教育

講演：北海道医療大学薬学部実務薬学講座

講師 中山 章 氏

演題：薬の基礎知識と学校における薬品管理

（2）平成29年度文部科学省補助事業

健康診断啓発研修会の開催

10月20日（金）ホテルライフポート札幌

第4 普及発展事業

1 広報活動事業

本道の学校保健の充実発展を図るため、会報「学校保健」を年3回発行し、当会の活動内容の周知及び各種学校保健活動を紹介し、学校保健思想の普及発展を図った。

・第102号（6月30日発行）

・第103号（9月30日発行）

・第104号（1月31日発行）

2 学校保健資料収集配布事業

（1）公益財団法人日本学校保健会刊行物の配布
・道、市町村教委、公立小、中、中等、特別支援学校へ配布。高等学校は直送。

○平成29年度学校健康づくり啓発ポスター

○保健室利用状況に関する調査報告書

○平成28～29年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書

○就学児の健康診断マニュアル平成29年度改訂

○教職員のためのエイズ・感染症に関する指導の手引き

○学校において予防すべき感染症の解説

第5 顕彰奨励事業

本道の学校保健（学校安全を含む）の振興に功労のあった学校保健関係者の個人を表彰し、その功労に報い、本道の学校保健の進展に寄与した。

28年度は北海道大会がなかったため、2年分の功労者表彰を行った。

学校医53名、学校歯科医75名、学校薬剤師31名、教職員7名の合計166名

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常利益			
①基本財産運用益	4,168,632	3,276,132	892,500
基本財産受取利息	4,168,632	3,276,132	892,500
②道補助金	2,000,000	0	2,000,000
③事業収益	5,327,700	5,352,600	△ 24,900
心検推進負担金	4,587,700	4,812,600	△ 224,900
受託事業収益	200,000	0	200,000
受取負担金	540,000	540,000	0
④雑収益	25	3,635	△ 3,610
受取利息	25	267	△ 242
雑収入	0	3,368	△ 3,368
経 常 利 益 計	11,496,357	8,632,367	2,863,990
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	1,344,000	1,207,500	136,500
臨時雇賃金	125,000	115,000	10,000
福利厚生費	221,440	187,338	34,102
旅費交通費	91,228	14,000	77,228
通信運搬費	115,438	81,029	34,409
消耗品費	20,842	6,267	14,575
印刷製本費	1,062,198	788,993	273,205
賃借料	470,882	386,748	84,134
諸謝金	21,000	24,000	△ 3,000
租税公課	9,000	4,000	5,000
会議費	8,316	10,152	△ 1,836
報償費	1,062,272	222,248	840,024
支払納付金	2,965,400	2,965,400	0
支払手数料	1,052,506	1,104,060	△ 51,554
事業費計	8,569,522	7,116,735	1,452,787
②管理費			
給料手当	576,000	892,500	△ 316,500
福利厚生費	89,140	145,283	△ 56,143
委託料	607,932	580,576	27,356
会議費	0	1,360	△ 1,360
旅費交通費	188,220	223,700	△ 35,480
通信運搬費	180,574	157,254	23,320
消耗品費	25,965	29,514	△ 3,549
印刷製本費	31,430	11,890	19,540
賃借料	201,792	285,876	△ 84,084
租税公課	70,000	70,000	0
支払負担金	703,060	709,406	△ 6,346
雑 費	61,255	64,980	△ 3,725
管理費計	2,735,368	3,172,339	△ 436,971
経 常 費 用 計	11,304,890	10,289,074	1,015,816
当期経常増減額	191,467	△ 1,656,707	1,848,174
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増加額	191,517	△ 1,656,707	1,848,224
当期一般正味財産増加額	191,517	△ 1,656,707	1,848,224
一般正味財産期首残高	204,991,288	206,647,995	△ 1,656,707
一般正味財産期末残高	205,182,805	204,991,288	191,517
II 指定正味財産増減の部			
①受取寄付金			
募金収益	1,030,000	0	1,030,000
当期指定正味財産増減額	1,030,000	0	1,030,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	1,030,000	0	1,030,000
III 正味財産期末残高	206,212,805	204,991,288	1,221,517

貸借対照表

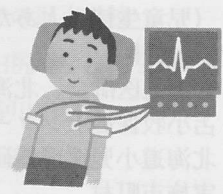
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	484,872	2,207,755	△ 1,722,883
定期預金	6,019	0	6,019
未収入金	2,000,000	40,000	1,960,000
有価証券	0	6,019	△ 6,019
流動資産合計	2,490,891	2,253,774	237,117
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,244,981	2,251,000	△ 6,019
投資有価証券	200,455,019	200,449,000	6,019
基本財産合計	202,700,000	202,700,000	0
(2) 特定資産			
その他の特定資産	1,030,000	0	1,030,000
特定資産合計	1,030,000	0	1,030,000
(3) その他固定資産			
什器備品	37,514	37,514	0
その他固定資産	37,514	37,514	0
固定資産合計	203,767,514	202,737,514	1,030,000
資産合計	206,258,405	204,991,288	1,267,117
II 負債の部			
1 流動負債			
未払い金	22,973	0	22,973
預り金	22,627	0	22,627
流動負債合計	45,600	0	45,600
負債合計	45,600	0	45,600
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
募 金	1,030,000	0	1,030,000
正味財産合計	1,030,000	0	1,030,000
2 一般正味財産			
(内基本財産への充当額)	205,182,805	204,991,288	191,517
(内特定資産への充当額)	(202,700,000)	(202,700,000)	0
(1,030,000)	0	(1,030,000)	
正味財産合計	206,212,805	204,991,288	1,221,517
負債及び正味財産合計	206,258,405	204,991,288	1,267,117

心臓検診事業

北海道学校保健会は、これまでに全道の児童生徒約23万5千人に対して心臓検診を実施しています。
(今年度も21市町村で実施)



台風21号及び平成30年北海道胆振東部地震

9月6日午前3時8分に厚真町を震源として発生した平成30年北海道胆振東部地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた皆様方に対して、心よりお見舞い申し上げます。

前日に北海道を襲った台風21号は記録的な暴風を伴い、各地で大きな被害がありました。そしてその翌日、今まで北海道で記録したことのない震度7の大きな地震が発生し、多くの方が亡くなり、負傷者も多数出ました。また、住宅の倒壊、道路の損壊、大規模停電、断水、交通機関の停止、物流のマヒによる商品不足など、いまだかつてないほどの大きなツメ跡を残しました。

